

令和5年度 第2回 保土ヶ谷区障害者地域自立支援協議会 こども余暇部会（フレンドサポート事業実行委員会） 次第	
日 時	令和6年2月14日（水）11:00～12:00
開催場所	保土ヶ谷区社協
出席者	保土ヶ谷区こども家庭支援課（逸見係長（～11:20）） 保土ヶ谷 CP（亀山所長）、仏向 CP（横山）、岩崎 CP（沖野）、 保土ヶ谷区社協（大竹次長、本橋） ほどがや地域活動ホームゆめ（田中）、保土ヶ谷区基幹（吉田）
欠席者	保土ヶ谷支援学校、上菅田 CP、星川 CP、常盤台 CP、今井 CP、川島 CP、 保土ヶ谷希望の家、あひるの会、上菅田特別支援学校、すみれ園
開催形態	公開（傍聴人： 名） ・ 非公開
議 題	<p>1. 自己紹介</p> <p>2. 今年度 余暇関係事業 実施報告</p> <p>○区社協 ほっとフレンズの運営のみ。</p> <p>○岩崎 CP 独自事業なし。次年度も今のところ実施予定なし。</p> <p>○保土ヶ谷 CP 余暇事業実施はない。 成人の当事者団体が CP の貸室を利用して活動中。 他、スマイルガーデンの販売場所を提供予定。単発、不定期開催となる見込み。</p> <p>○仏向 CP ワンアップ教室（療育相談とリトミック）を継続開催 障害の有無問わず参加あり。こどもの居場所として機能している。 他、当事者ダンスサークル2 団体が貸室を利用して定期活動中。 3月 仏向フェスタでダンス発表あり。</p> <p>○地域活動ホーム 5月、7月、10月と児童余暇を計10回実施。 企画内容は、潮干狩り、プールあそび、ハロウィン外出 児童のみを対象とすると応募者が少ないことが継続課題 児童、成人問わず募集を掛けた上で調整するなど、申込が増える実施方法を検討していく必要があるか。 LINE を使って余暇の告知を行っているが、郵送時と比較して目立った変化は見受けられない。</p> <p>◎令和5年度 こども余暇部会年間報告書 および 令和6年度 こども余暇部会年間計画書作成について 書式に従い、参加者で年間の振り返りを行った。下記、内容の集約。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会でできたこと 外出企画を数年ぶりに実施した ・運営上の課題 ほっとフレンズ3回の予定が2回となった

企画運営に慣れている職員が減ったこと、また、コロナ禍で余暇事業が中止となった期間も重なり、運営方法がまとまらない状況になっている。

障害者施設が地域資源を上手く把握できていない現状をどう変えるか。

・区域でシェアしたい取組

“たすけ隊”（ボラ募集のプラットフォーム）を活用したボランティア募集

・市域で共有・検討したい事項

コーディネーターが障害を学ぶ機会を必ず持てるような研修の仕組みを設けられないか。コーディネーター研修の一部を必ず障害分野の内容とする、等。

計画書はほっとフレンズ実施予定に従い、活動内容を記入。

部会長、副部会長の設定：なし

問い合わせ先：基幹相談

年間目標、実施概要：今年度と同様、運営規約に沿った内容とする。

報告書、計画書作成担当：区社協 2/29 担当者会までに提出。

3. 次年度フレンドサポート実行委員会 開催予定

令和6年度 第1回 6/12（水）11：00～

第2回 2/12（水）11：00～

会場：保土ヶ谷区社協（確保済み）

4. 次年度実施予定および予算について

○次年度予算について

今年度実績ベースで予算計上方針。

○次年度実施予定について

予算に従い、今年度と同様のスケジュール（7月、3月）でほっとフレンズを実施予定。

その他、区より運営にあたって、

- ・HPの活用
- ・公的サービスと余暇事業のすみ分けを明確に打ち出すこと
- ・地域連携、障害理解の促進を念頭に置いた企画運営を

という意見を頂く。

○運営規約の改訂について

下記、2箇所に変更の必要あり

1. 区内CP数の更新（7カ所 → 8カ所）

2. 実行委員名簿の更新（個人名なし、所属先名称、住所、連絡先）

次年度、実行委員会内で規約の更新について話し合う。

5. その他 情報共有等

○ほっとフレンズ春における申込者の個人情報流出について

申込フォームの設定が原因。

設定を再確認し、以後、同様のトラブルが起きないように、十分注意してフォームの運用にあたっていく。

次回実行委員会：令和6年 6月12日（水）11：00

場所：保土ヶ谷区社協